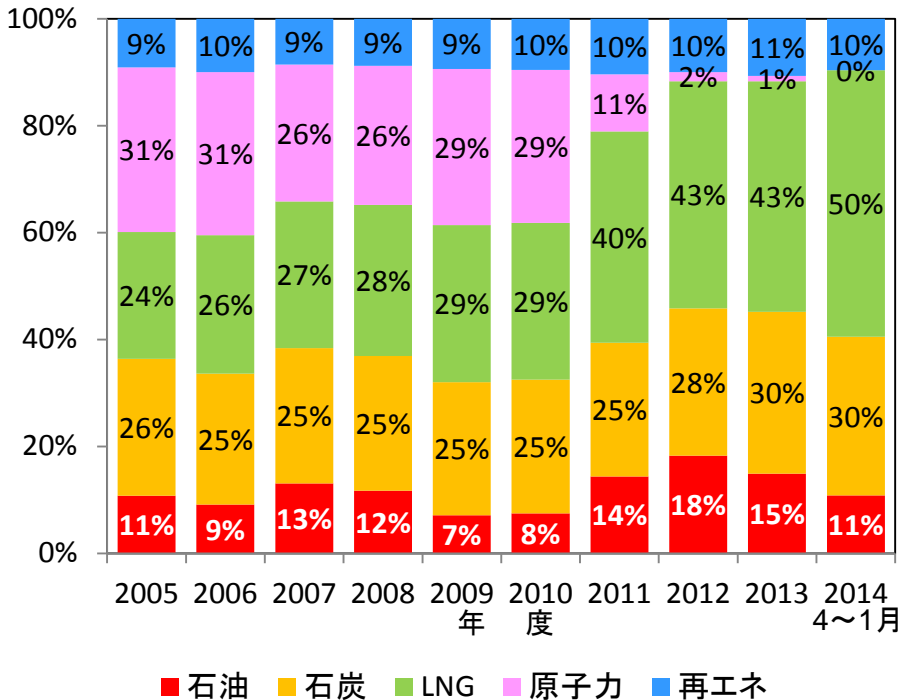




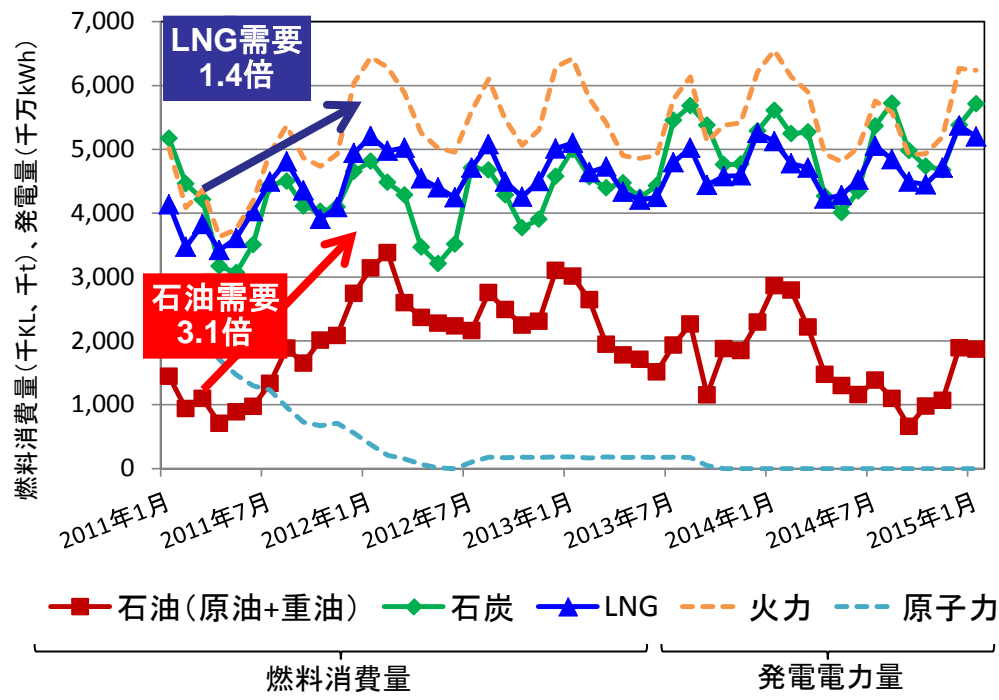
# 「石油火力」の位置付けの明確化

- 電源ミックスの中で、①短期的な系統安定化、②太陽光などの再エネの導入拡大、③自然災害等による電源の長期的な計画外停止等に備えた予備力(バックアップ電源)として、どのような電源を位置付けるかを検討することが必要です。
- バックアップ電源の検討にあたっては、燃料の供給弾力性に優れ、最近の大規模電源の計画外停止等で果たしてきた実績を踏まえ、エネルギー基本計画でピーク電源及び調整電源とされている「石油火力」の位置付けを明確にして頂くようお願いします。

### 発電電力量(kWh)構成の推移



### 発電用燃料消費量の推移



(出所)電気事業連合会、2014年度は電力調査統計による石油連盟計算値

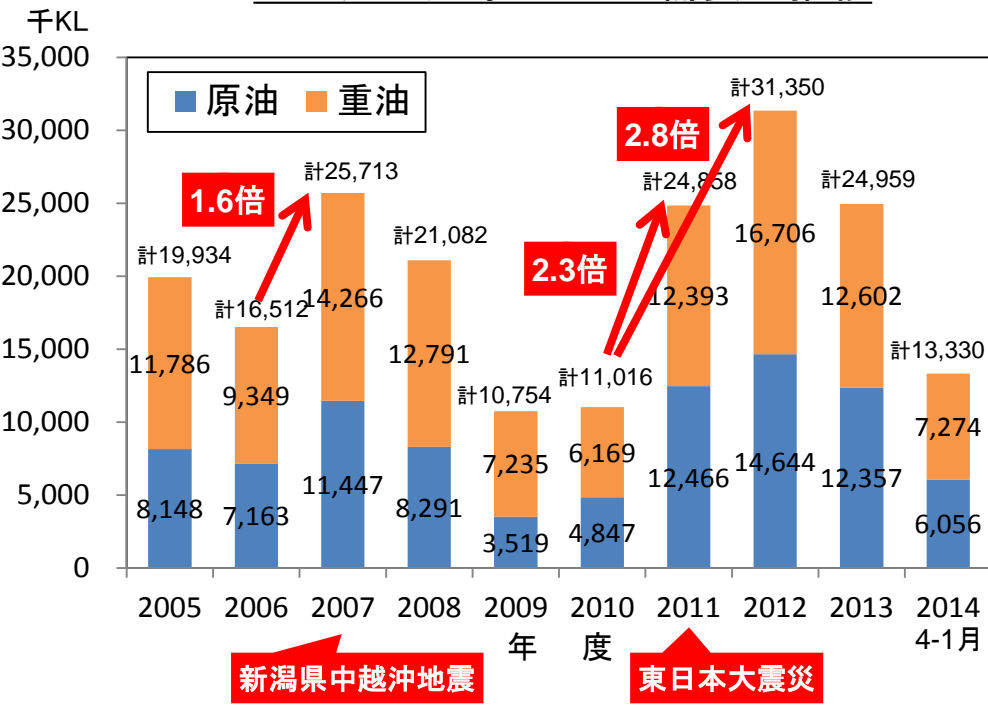
(出所)電力調査統計 (注)石油・LNG需要の倍数は何れも2011年3月対比



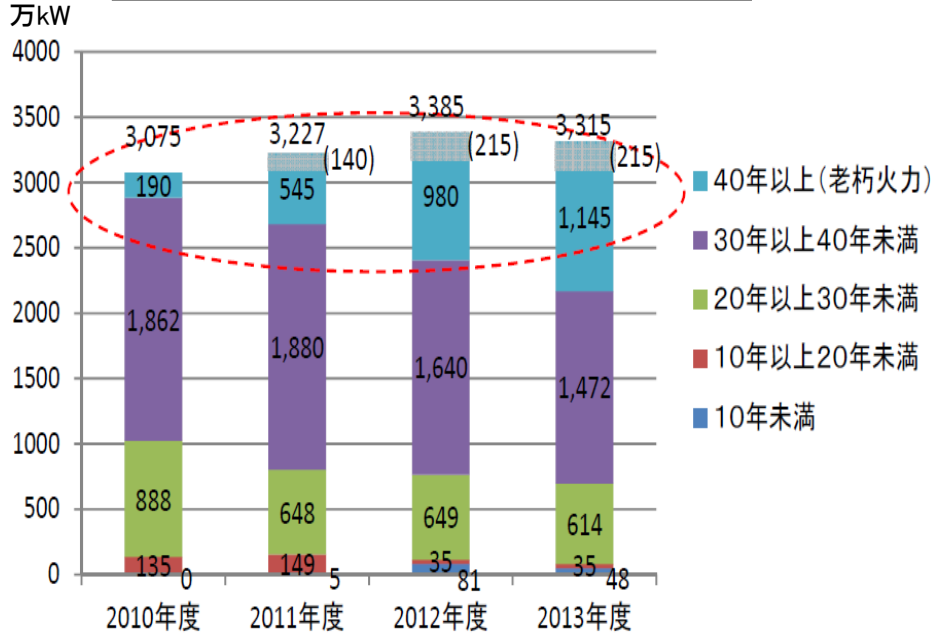
# 「石油火力」の平時からの一定稼働について

- 予備力として「石油火力」を活用するためには、緊急時のみの運用では国内サプライチェーンを維持できないため、「石油火力」の平時からの一定稼働が必要です。
- 過去の大規模電源の計画外停止の実績では、通常の稼働レベルからは2倍程度必要とされており、こうした実績を踏まえた検討が必要となります。
- また、一般電気事業者が保有する「石油火力」は老朽化のため非効率であることから、地球温暖化対策の観点から「石油火力」のリプレースが必要となります。

### 石油火力用原油・重油需要の推移



### 石油火力の経年別設備容量の推移



(注) 設備容量は沖縄電力を除く一般電気事業者9社合計  
 各年度の夏季(7~9月)及び冬季(12~2月)に稼働させていた発電所の出力合計  
 網掛け(グレーの部分)は長期停止から再稼働した発電所で、出力の値を( )内に記載  
 (出所) 総合エネ調 電力需給検証小委員会-報告書(平成26年4月)